

平成28年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程

(1/4)

【2月募集】入学試験問題

講座	日本・アジア言語文化論
小論文（日本語学）	

次の文章は陣内正敬『日本語の現在』という文章の一部である（設問の都合上、省略した部分がある）。よく読んで、後の問に答えなさい。

なお解答は解答用紙に書きなさい。その際、どの問題に答えたのか、採点者にはつきりとわかるようにして書きなさい。解答は縦書きでも横書きでも構いません。



陣内正敬『日本語の現在』(16〜20ページ) アルク新書) に  
よる

問一 傍線部のカタカナ部分①「ハヤ(り)」、②「マサツ」、③「セマ(る)」。④「キョウヨウ」、⑤「ユズ(らない)」、⑥「ヒロウ」、⑦「トウトツ」、⑧「ダトウ」、⑨「キョウチョウ」、⑩「フンイキ」を漢字に直しなさい。

問二 二重波線部(ア)「愛くるしい」、(イ)「押し付けがましい」、(ウ)「面食らい」、(エ)「回路を遮断」、(オ)「あわよくば」、(カ)「相づちを手に入れよう」、(キ)「ずうずうしさ」、(ク)「ひと昔前」、(ケ)「反感を買った」、(コ)「あれやこれや」、(サ)「くだけた表現」はそれぞれどういう意味か、分かりやすく説明しなさい。

問三 X         の箇所にはもともと「若者主流」という題目の三〇〇字程度の文章があった。その文章は後掲「「じゃないですか」の年代別使用率」の表についての解釈である。この部分にどのようなことが書かれていると考えられるか、書きなさい。

問四 省略された部分も含めて「じゃないですか」について、筆者の意見をまとめなさい。

問五 日本語のくだけた表現とフォーマルスタイルの違いについて、いろいろな観点からあなたの考えるところを具体例をあげて論述しなさい(解答用紙一ページ程度で)。

(以上)